

- ◆ 会 場：柏崎原子力広報センター 研修室
- ◆ 出席委員：新野・久我・佐藤・三宮・前田・武本・渡辺委員 …7 名
- ◆ オブザーバー：保安院／竹本所長 大嶋副所長 嶋崎検査官 エネ庁／七部所長
新潟県／熊倉原子力安全広報監 藤田係長
東電／長野副所長 西田技術担当 森 GM
- ◆ 事務局：柏崎市／阿部主任 野澤主査 広報センター／永井事務局長 石黒主事

次回以降定例会内容について

◆ 9 月定例会（9 月 2 日）内容について

- 〈会長〉以前から定例会の中でも、委員から防災計画について説明の要望があった。このたび、県の防災計画の大枠が固まったと聞いているので、その説明をしてもらうこととしたい。市村も同様だが、内容としてはほぼ県に準じるとも聞いているので、まず県から説明いただきたい。
- 〈県〉地震発生後、新潟県地域防災計画（原子力災害対策編）について見直しを行っている。原子力災害のみでなく、ほかの災害と一緒に複合災害として発生した場合の対応や、原子力災害という大きな災害になる前の、それ未満のところでの対応といった見直しを行ってきた。パブリックコメントも既に行い、今は国と、最終的な反映の確認を行っている。内容としては、地震を受けて以降どういう見直しをしたのかを中心に説明したいがどうか。概要、見直し、何かあったときに避難はどのように考えられているのか等の説明をし、意見をいただきたい。
- 〈県〉地域防災計画自体は、やることの大枠、方向が書かれている。その下に原子力災害対策マニュアルや避難基本計画などを設け、そこで具体的に対応していくと考えている。大枠の計画についても大いに意見をいただき、具体的には、基本計画やマニュアルの中に、地元の方からの個々の具体的な意見などいただければと思う。
- 〈委員〉計画自体は大切であるが、マニュアルの中の話と実際問題でそぐわない場合に、その運用について、誰が決定をできるかあらかじめ、リスクの大きさに応じて決定権を渡すような仕組みがあるといい。
- 〈会長〉県の範疇でなく、市村がやるべきこと、地域がやるべきこともある。それを住民側は理解しなければいけない課題と思う。防災といえばみんな助けてくれるという認識だが、県、市村、地域や個人それぞれがやるべきことと住みわけができそうでできていない。今回は、県がしていることなので骨組みの部分。細かいことは要望として発言していただきたい。様々な材料を提供し、どこが対応するのか整理をし、年末か年度末頃に回答をいただくというのがいいのではないか。
- 〈県〉防災計画は県だが、当然、市村でも作っている。その下に今現在、避難マニュアルを持っている。今回それらも防災計画を受けて、細かい計画を作ることになっている。
- 〈委員〉マニュアル設定が重要。
- 〈委員〉せっかく計画を見直すなら、原子力災害に地震や風水害なども加味する必要がある。
- 〈県〉いくつか災害が重なることも想定し、そのときにどうするのかを盛り込むことも必要なことと思う。住んでいる方の感覚でいろいろご意見をいただければと思う。

〈会長〉住民の視点での発言をさせていただく。
〈委員〉静岡の地震について保安院から説明してほしい。遠くの地震で刈羽はこれだけ揺れた。
〈会長〉9月2日時点で応えられる範囲で説明していただきたい。
〈保安院〉どこまで説明できるかわからないが本院と相談する。
〈会長〉6, 7号機に動きがあれば議事に一部変更の可能性もあるので了解いただきたい。
(委員 了解)

【決定事項】

- ・ 防災計画についての説明。(県)
- ・ 静岡の地震についてできれば説明してもらおう。(保安院)

〈タイムスケジュール〉

19:00～19:30 前回定例会以降の動き
19:30～20:10 防災計画について(県)
20:15～21:00 質疑応答
21:00～ その他

◆ 10月、11月定例会について

- ・ 10月7日(水) 18:30～ 柏崎原子力広報センター 研修室
- ・ 11月4日(水) 18:30～ 柏崎原子力広報センター 研修室(予定)

第6回臨時会(8月26日)内容について

〈会長〉今年度の活動についてアンケートを出していただいた。

「原子力に対する国の姿勢」について

〈会長〉地震を受けた後、国も検討を相次いで行っている。エネ庁も保安院も、国の方針に沿って、シナリオをかえて活動している。エネ庁、保安院、原子力安全委員会にも来てもらい勉強会はできる。すぐはできないが、中期的に落ち着いたら取り上げたい課題であり、26日はこれらも提案させていただきたい。

また、委員として参加している保安院の保安部会において、会の総意である過去の「提言」を紹介したいと思う。

さらに、原子力安全委員会から、地域の会の視点で意見交換会をしたいと申し出があった。経緯や過去の提言を出す予定。26日はこれらの活動についても報告したい。

26日は、アンケートに添いながらの今後の活動協議をしたい。

もう一点。できればいろいろな立場の人からみんなに発言してほしい。わからない人には「わからない」と言ってほしい。

(委員 了解)

視点37号内容について

- ・ 「ベネフィット」は「プラスとマイナス」に修正する。

次回運営委員会日程について

- 9月15日(火) 18:30～ 柏崎原子力広報センター 研修室

委員意見・質問について

- ・意見「出席者名の、各委員名の後の『委員』はいらない。フルネームか姓のみでよい」について
- 「委員」はとる。